

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	森重 功一		
居室	東4-522		

公開E-Mail	授業関連Webページ
m-shige@mce.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
ワークステーションの基本操作を習得し、UNIX環境、ネットワーク環境への入門とする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：渡辺 成良、若月 光夫、織田 健 共著『UNIXコンピュータリテラシー』（共立出版）

【授業内容とその進め方】

以下のような内容を予定している。

1. UNIXというOS (Operating System) の概要、歴史、特徴について知る。
2. ログイン、ログアウト、パスワードの管理等、ワークステーションの基本操作を学ぶ。
3. ファイルシステムやディレクトリの概念を理解し、ファイルの作成、移動、削除等の基本操作について習熟する。
4. シェル (Shell) とは何であるか理解し、環境変数、入出力制御 (リダイレクション、パイプ)、ジョブ制御等の高度な操作を修得する。
5. UNIXの標準環境であるX-Windowシステムの概要と基本操作について理解する。
6. Muleやvi等のエディタ (Editor) の基本操作や日本語入力方法を覚え、電子メディアによるレポートの提出を可能にする。
7. 電子メールの利用。
8. 高級プログラミング言語であるC言語について、簡単なプログラムの作成と実行を通して具体的に学ぶ。

毎回、出席をとります。レポートを電子メールなどにして数回提出させます。

講義時間中は、2人のTA (Teaching Assistant: 本学の大学院博士前期課程学生) も質問に答えてくれます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法 :

- ・ 中間試験・期末試験は行わない。
- ・ 出席状況、講義中に出す課題の提出状況と内容などから総合的に判定する。

(b) 評価基準 :

以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。

- ・ すべての課題が受理されていること。
- ・ ネットワークを利用するものとしてのマナーを理解していること。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

将来、勉学や研究に必須の道具ですので早めにマスターするとよいでしょう。

2学期の「基礎プログラミングと演習」には、これが出発点となります。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【その他】